

令和6年度 出前講座の概要



○ 「対象」の略称

教委…市町教育委員会、**幼**…幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部

小…小学校・特別支援学校小学部、**中**…中学校・中等教育学校前期課程・特別支援学校中学部

高…高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部

研究委員会…「幼・小・中・高」の教職員が所属する各研究委員会

訪問 オンデマンド ライブ配信

講座1 組織的教育力を高める学校運営・人材育成 講義 60分

学校の組織的教育力を高めるには、教職員間の学び合いや支え合い、協働する力が不可欠です。また、教職員一人一人が学校運営に参画し、学校改善を図る取組も必要です。講座では、組織的教育力を高め、学校運営に生かす学校組織マネジメントの具体的な方策やこれからの人材育成の在り方について説明します。

講座内容	対象					
	教委	幼	小	中	高	研究委員会
a 教職員の協働性を高める取組と管理職の役割	○					○
b コーチングを生かした人材育成・同僚性の向上	○		○	○	○	○

○ aは、管理職を対象とした講座です。bは、管理職又は学校を対象とした講座です。

訪問 オンデマンド ライブ配信

講座2 資質能力を高める校内研修 講義・演習 90分 改編

a、bでは、教員のキャリアステージにおける指標を基に、教員一人一人が資質能力を高めることのできる校内研修の在り方を紹介します。「指標確認シート」を活用し、現在の自己分析とこれからの目標設定について考えていきます。Cでは、互いに学び合う授業研究等、校内におけるOJTの進め方について研修します。

講座内容	対象					
	教委	幼	小	中	高	研究委員会
a 資質能力を高める校内研修の在り方	○					○
b 「指標確認シート」を活用した校内研修			○	○	○	
c OJTで進める校内研修			○	○	○	

訪問 オンデマンド ライブ配信

講座3 公用文の書き方「基礎・基本」 一用字用語を中心に 講義・演習 60分

公用文の書き方に不安を感じている教員を対象に、文章の書き方の基礎と、公用文における表記（特に用字用語）の習得を目的とした研修を行います。

講座内容	対象					
	教委	幼	小	中	高	研究委員会
a 文章表記の基礎及び公用文における用字用語の習得	○		○	○	○	

訪問 オンデマンド ライブ配信

講座4 学習指導要領を踏まえた学習評価 講義・協議 60分

学習指導要領を踏まえた学習評価について理解を深め、生徒の資質・能力向上と教師の指導改善に資する評価の在り方について考えます。

講座内容	対象					
	教委	幼	小	中	高	研究委員会
a 学習評価の在り方					○	

講座5 **確かな学びをつくる授業づくり** 講義・演習 60～90分
—国語—

学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた国語科の授業づくりについて考えます。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのよりよい指導や、指導と評価の一体化を目指した学習評価の在り方について、講義や演習を通して理解を深めます。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善			○	○	○	○
b	国語科の授業づくりと評価の在り方			○	○	○	○

○ 国立教育政策研究所作成の授業VTR（小学校での実践）の視聴も可能です。

講座6 **確かな学びをつくる授業づくり** 講義 60～90分
—社会、地理歴史・公民—

学習指導要領に示された目標や内容を踏まえながら、社会科、地理歴史・公民科における、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善や、思考力・判断力・表現力等を育む授業の在り方について考えます。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○		○	○	○	○
b	思考力・判断力・表現力等を育む授業の工夫	○		○	○	○	○

講座7 **地域素材を活用した学習指導の工夫** 講義 60～90分
—社会、地理歴史・公民—

学習指導要領に示された目標や内容を踏まえながら、愛媛県内の身近な地域を事例とした、地図・地形図等を活用する教材や授業改善の工夫について研修します。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等を育む授業の工夫	○		○	○	○	○

講座8 **確かな学びをつくる授業づくり** 講義 60～90分
—算数、数学—

学習指導要領で示された目標や内容を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、思考力・判断力・表現力等を育む授業の在り方、学習評価の在り方について考えます。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善			○	○	○	○
b	思考力・判断力・表現力等を育む授業の工夫			○	○	○	○

講座9 **確かな学びをつくる授業づくり** 講義 60～90分
—理科—

学習指導要領で示された目標や内容を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、実感を伴った理解を図るための指導法について、観察、実験を通して考えます。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	○		○	○	○	○
b	実感を伴った理解を図るための観察、実験の進め方			○	○	○	○

○ 実験・実習については、原則として学校の実験器具や材料を使わせていただきますが、学校にないものは本センターから持参することも可能です。

講座10 薬品の適切な管理及び安全な理科実験の指導		講義 60～90分					
薬品管理に関する法令等に基づいた、学校における適切な薬品管理の在り方についての研修を行います。また、理科実験における事故等を防止するために、安全管理についての知識を身に付け、指導力の向上も図ります。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	薬品の適切な管理	○		○	○	○	○
b	安全な理科実験の指導	○		○	○	○	○

講座11 生活科の授業づくり		講義・演習 60～90分					
学習指導要領に示された生活科の目標や内容を踏まえ、児童一人一人の多様な学びや育ちを読み取り、よさを発揮できるような学習指導の進め方や評価の在り方について考えます。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善			○			○
b	多様な学びを生み出す遊びの工夫			○			○

講座12 幼児教育と小学校教育の連携・接続の在り方		講義・演習 60～90分					
幼児教育と小学校教育を円滑に接続することは重要です。「幼保小架け橋プログラム」の基本的な考え方や幼小接続に向けたカリキュラム作成のポイントについて解説します。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	豊かな連携・接続の在り方と接続期カリキュラムの基本的な考え方	○	○	○			○

講座13 子どもの体力向上と体育・保健体育授業の基礎・基本		講義 60～90分					
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果を踏まえた、子どもの体力向上に向けた取組について解説します。体育・保健体育授業の基礎・基本では、学習指導要領を踏まえた授業づくりのポイント、学習評価、授業中の事故防止等について、基礎的・基本的な内容から解説します。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	子どもの体力向上に向けた取組			○	○	○	○
b	体育授業の基礎・基本			○	○	○	○

講座14 ミシン製作における基礎的・基本的な技能		説明・実習 90～120分					
ミシンを用いた製作実習を通して、基礎的・基本的な知識や技能について研修し、製作実習の指導力向上を目指します。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	ミシンを用いた生活を豊かにするための布を用いた製作			○			○

○ 会場校等のミシンや裁縫道具、材料を使用させていただきます。

講座15 確かな学びをつくる授業づくり —家庭—		講義 60～90分					
学習指導要領で示された目標や内容を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や、思考力・判断力・表現力等を育む家庭、技術・家庭（家庭分野）の授業づくり、学習評価の在り方について考えます。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善			○	○	○	○
b	思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり			○	○	○	○

○ a、bを組み合わせで行うことも可能です。

講座16 確かな学びをつくる授業づくり —外国語活動・外国語—		講義 60～90分					
主体的・対話的で深い学びを意識し、中・高等学校における外国語教育につながる小学校外国語活動・外国語科の授業づくりについて考えます。また、学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた学習評価の在り方について考えます。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善			○			○
b	外国語活動・外国語の授業づくりと評価の在り方			○			○

○ a、bを組み合わせで行うことも可能です。

講座17 確かな学びをつくる授業づくり —外国語（英語）—		講義 60～90分					
主体的・対話的で深い学びを意識した外国語科の授業づくりについて考えます。また、小・中・高等学校の学びの連続性を意識した授業づくりや評価の在り方について考えます。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善				○	○	○
b	学びの連続性を意識した授業づくりと評価の在り方				○	○	○

○ a、bを組み合わせで行うことも可能です。

講座18 確かな学びをつくる授業づくり —図画工作・美術—		講義・演習 60～90分					
学習指導要領で示された目標や内容を踏まえた図画工作科・美術科の授業づくりについて考えます。子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのよりよい指導の在り方について、講義や演習を通して理解を深めます。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善			○	○		
b	図画工作科・美術科の授業づくりと評価の在り方			○	○		

講座19 総合的な学習（探究）の時間の在り方		講義・演習 60～90分					
学習指導要領で示された目標を読み解き、児童生徒に身に付けさせる力は何かを考えます。また問題解決的な活動が発展的に繰り返される「探究的な学習」や、多様な考え方を持つ他者と関わり合う「協働的な学習」を進めるための学習指導の在り方について研修します。							
講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	探究的、協働的な学習を進めるための学習指導の在り方			○	○	○	○
b	全体計画・指導計画作成の進め方			○	○	○	○

○ bについては、学校の全体計画・年間指導計画等の提出が必要です。

○ a、bを組み合わせで行うことも可能です。

講座20 **多文化共生の視点に立った外国人児童生徒等への支援の在り方** 講義・演習 60～90分 new **新規**

増加傾向にある外国人児童生徒等の現状を理解するとともに、状況や段階に応じた支援の在り方について研修します。学校における多文化共生の文化づくりについても考えます。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	外国人児童生徒等教育の現状と課題			○	○	○	
b	日本語指導の基礎			○	○	○	

○ 外国人児童生徒等の在籍の有無は問いません。

講座21 **今、求められる道徳教育の具体的な展開** 講義・演習 60～90分 **改編**

今、求められている道徳教育の在り方について基本的な内容の共通理解を図ります。また、道徳科の学習指導及び評価のポイントを押さえ、一人一人の教師が自信をもって授業に臨めるようになることを目指します。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	今、求められる道徳教育の具体的な展開（学習指導を中心に）	○		○	○		○
b	今、求められる道徳教育の具体的な展開（学習評価を中心に）	○		○	○		○
c	今、求められる道徳教育の具体的な展開（学習指導と評価）	○		○	○		○

講座22 **道徳科の授業づくり** 演習 90分 **改編**

道徳的諸価値についての考察、発問の設定、授業構想シートの活用等、よりよい授業づくりに向けたお手伝いをします。一つの教材を様々な角度から考える演習を通して道徳科の指導力向上を目指します。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	道徳科の授業づくり			○	○		

講座23 **道徳科の授業の充実と改善のために（実施回数3回）** 講義等 60～90分 **改編**

道徳教育の意義及び、道徳科の指導方法についての理解を深めるとともに、提案授業を指導主事が参観したり、指導案審議や研究協議に指導主事が参加したりすることを通して、道徳科の疑問や相談にお答えします。実際の授業を分析しながら道徳科の授業の充実と改善を目指します。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	道徳科の授業の充実と改善のために（実施回数3回）			○	○		

○ 内容、実施時期は相談の上決定いたします。実施回数については、学校の実情に合わせて相談に応じます。
○ 授業を扱う際は、1週間前までに学習指導案の提出をお願いします。

講座24 **小・中学校における特別活動の在り方** 講義・演習 60～90分

学習指導要領を踏まえて、特別活動の果たす役割や指導内容について理解を深めるとともに、学級活動を充実させるための指導の在り方について、講義や演習を通して考えます。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	特別活動の役割等の理解と指導の在り方	○		○	○		○

講座25 **これからのキャリア教育の在り方** 講義・演習 60～90分

これからのキャリア教育で求められていることやキャリア教育の具体的な在り方について、講義・演習を通して学びます。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	キャリア教育の基礎・基本	○		○	○		○

講座26 **人権・同和教育の在り方** 講義のみの場合 60～90分
演習を取り入れる場合 90～120分

「第三次とりまとめ」を基にして、人権・同和教育の指導の在り方を考え、人権・同和教育の在り方について理解を深める研修を行います。また、小・中学校の社会科教科書にある記述内容を踏まえた人権の歴史学習の進め方や系統性を踏まえた同和問題学習の在り方についても研修を行います。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	「第三次とりまとめ」を基にした人権・同和教育		○	○	○	○	○
b	教科書記述に沿った同和問題学習			○	○	○	○
c	系統性を踏まえた同和問題学習			○	○	○	○
d	学校全体で取り組む人権・同和教育	○					

講座27 **情報モラル** 講義 60～90分

インターネットやスマートフォン、タブレット端末の利用の現状や問題点について理解し、児童生徒をネット問題から守るために必要な知識を身に付けるための研修や、学校でオンライン学習等を行うために必要な著作権の知識を身に付けるための研修をします。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	情報モラル教育（デジタル・シティズンシップ教育を含む）	○	○	○	○	○	○
b	学校における著作権	○	○	○	○	○	○

- Microsoft Office PowerPointを使用します。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出す環境があることが望ましいです。

講座28 **情報セキュリティ対策** 講義 60～90分

最近の情報に係る事件・事故例を知ることで情報セキュリティの重要性を理解し、情報セキュリティの検討方法や学校及び個人で行う対策等について研修します。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	事件・事故例に基づく情報セキュリティの検討と対策	○	○	○	○	○	○

- Microsoft Office PowerPointを使用します。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出す環境があることが望ましいです。

講座29 **学校ホームページ運用研修** 講義・実習 60～90分

CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を利用した学校ホームページの基本操作について実習を行い、日々の作業や運用のために必要な技術について研修します。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	学校ホームページの運用方法に関する実習	○		○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してパソコンが1台あることが望ましいです。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出す環境があることが望ましいです。

講座30 **校務におけるICT活用** 講義・実習 60~120分 [改編]

校務に必要な文書作成や表計算、クラウドサービス等の活用方法を学び、ICT活用指導力や校務の情報化の推進に必要なスキル等の向上を図る研修をします。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	Word・Excelの活用実習	○	○	○	○	○	○
b	クラウドサービス（Microsoft365、Google Workspace for Education等）の活用実習	○	○	○	○	○	○
c	生成AIの活用実習	○	○	○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- Microsoft Office Word (a)、Microsoft Office Excel (a)、クラウドサービス (b) を使用します。
- 生成AI (c) の実習には、事前に受講者各自でアカウントを取得していただく必要があります。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してパソコンが1台あることが望ましいです。
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出せる環境での実施が望ましいです。

講座31 **授業におけるICT活用** 講義・実習 90~120分

ICT教育推進ガイドラインに基づき、実習を交えながら学び、授業におけるICT活用指導力の向上を図る研修をします。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	電子黒板やプレゼンテーションソフトの活用	○		○	○	○	○
b	クラウドサービス（Microsoft365、Google Workspace for Education、ロイロノート等）の活用	○		○	○	○	○

- インターネットを使用します。
- 電子黒板の内容を希望する場合は、電子黒板を使用します。(a)
- プレゼンテーションソフトを使用します。(a)
- 実習を伴うので、受講者一人に対してパソコンが1台あることが望ましいです。(b)
- プロジェクタとスクリーン又は中間モニタ等、講師のパソコンの画面を映し出せる環境での実施が望ましいです。

講座32 **小学校におけるプログラミング教育** 講義・実習 90~120分

児童のプログラミング的思考の育成を図る小学校プログラミング教育の基本的な考え方や指導法について、講義や実習を通して理解を深める研修をします。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	小学校におけるプログラミング教育	○		○			○

- インターネットを使用します。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してパソコンが1台あることが望ましいです。

講座33 **CBTシステム（EILS）の活用** 講義・実習 90~120分 [新規]

CBTシステム（EILS）の基本的な使い方や操作方法について研修します。また、日々の授業で活用できるよう、校種や教科等に合わせてEILSで作問する研修を行います。

	講座内容	対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	基礎編（基本的な使い方や操作方法の実習）	○		○	○	○	○
b	作問編（授業での活用に向けた作問実習）	○		○	○	○	○

- EILS作問編 (b) では、事前に作成したい問題を準備していただく必要があります。
- インターネットを使用します。
- 実習を伴うので、受講者一人に対してパソコンが1台あることが望ましいです。

講座34 **児童・生徒の情報活用能力の向上を目指すICT活用（実施回数3回）** 講義・実習 90～120分 [改編]

児童・生徒の情報活用能力の向上を目指して、ICTを授業で活用する方法を研修します。また、ICT教育推進ガイドラインに則した教職員のICT活用指導力の向上を図ります。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	児童・生徒の情報活用能力の向上を目指すICT活用（実施回数3回）			○	○	○	

○ 1回の実施時間は90分を基本とします。

○ インターネットを使用します。

○ 3回分の日時と内容が記された申込書の提出が必要です。（内容については、講座27～講座33の中から3つを選択してください。）

講座35 **いじめの未然防止と早期対応** 講義・演習 60～90分

いじめ問題の現状やいじめ防止対策推進法について理解を深め、いじめ問題への対応の在り方について事例を基に研修します。いじめの未然防止や早期対応のための組織的な取組について考えます。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	いじめ問題の現状と対応の在り方	○		○	○	○	○

講座36 **不登校児童生徒への支援** 講義 60～90分

不登校の現状を理解するとともに、状況や段階に応じた支援の在り方について研修します。児童生徒本人への具体的な支援のポイントや保護者との連携について考えます。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	不登校児童生徒への支援の在り方	○		○	○	○	○

講座37 **学校で行うアンガーマネジメント** 講義・演習 60～90分

怒りの発生のメカニズムを理解し、怒りをコントロールする方法であるアンガーマネジメントについて研修します。怒りを上手にコントロールし、よりよい人間関係を築く方法について考えます。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	教職員のためのアンガーマネジメント	○	○	○	○	○	○
b	児童生徒のためのアンガーマネジメント	○	○	○	○	○	○

講座38 **メンタルヘルスの理解と対応** 講義・演習 60～90分

メンタルヘルスの基礎知識について講義を通して理解を深めます。また、学校でできる対応や心の健康を保つための方法について協議や演習を通して学びます。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	子どもと教職員のメンタルヘルス	○		○	○	○	○

講座39 **これだけはおさえない教育相談のポイント** 講義・演習 60～90分

本センターで作成した教育相談資料を活用して、児童生徒や保護者の話を聴く際に必要となる、教育相談の基礎的なスキルを学びます。

講座内容		対象					
		教委	幼	小	中	高	研究委員会
a	教育相談の基礎的なスキルの向上に向けて	○	○	○	○	○	○

講座40 児童生徒を生かし伸ばす生徒指導の在り方 講義・演習 60～90分

児童生徒との信頼関係を基盤とした指導の重要性を理解し、児童生徒のやる気や自信を引き出すためのポイント（コーチングスキル等）について講義と演習を通して学びます。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	児童生徒との信頼関係づくり	○		○	○	○	○

講座41 子どもが安心して学び、生活できる学級（ホームルーム）づくり 講義・演習 60～90分

子どもが安心して過ごすことができる学級（ホームルーム）づくりを目指します。児童生徒を理解したり、それに基づいて関わったりする場面で活用できる心理技法や支持的な集団づくりの方法を、講義・演習を通して学びます。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	安心感を育む学級経営の在り方	○		○	○	○	○

講座42 幼児期の教育 講義・演習 60～90分

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。講座では、講義・演習を通して、幼児教育の基本について理解を深めます。また、運動遊びの内容や援助の仕方について、実際に体を動かしながら具体的に研修します。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	遊びを通しての総合的な指導において育みたい力	○	○	○			○
b	幼児期における運動遊びの理論と実際	○	○	○			○

講座43 特別支援教育の視点を取り入れた学級経営・授業づくり 講義 60分
講義・演習 90分 講義・演習は、訪問対応のみ

多様な教育的ニーズのある子どもがいることを前提とした学級経営や授業づくりについて、研修します。また、演習を通して、具体的な取組について学びます。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	特別支援教育の視点を取り入れた学級経営、授業づくり（講義）	○		○	○	○	○
b	特別支援教育の視点を取り入れた学級経営、授業づくり（講義・演習）	○		○	○	○	○

○ 特別支援学校のみ場合は、対象外とします。小・中・高等学校と特別支援学校合同の研修の場合は、対象となります。

講座44 特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援 講義 60分
講義・演習 90分 講義・演習は、訪問対応のみ

疑似体験等の活動を通して子どもの困難さや特性を理解し、つますきに対応した具体的な支援の在り方や合理的配慮の提供について、研修します。

	講座内容	対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	子どもの困難さや特性の理解（講義／講義・演習）	○	○	○	○	○	○
b	つますきに対応した具体的な支援の在り方（講義／講義・演習）	○	○	○	○	○	○
c	学校における合理的配慮（講義／講義・演習）	○	○	○	○	○	○

○ a～cの順に、発展的な内容の講座となります。
○ 申込時に、講義又は講義・演習のどちらを希望するか、明記してください。
○ 特別支援学校のみ場合は、対象外とします。小・中・高等学校と特別支援学校合同の研修の場合は、対象となります。

講座45 **個別の教育支援計画と個別の指導計画** 講義 60分
講義・演習／演習 90分 講義・演習／演習は、
訪問対応のみ

子どもの実態把握の方法を学び、実態に基づいた個別の指導計画の作成と活用について研修します。個別の指導計画の作成演習を通して、作成の手順を学びます。

講座内容		対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	個別の教育支援計画と個別の指導計画の基本的な理解（講義）	○	○	○	○	○	○
b	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成・活用（講義・演習）	○	○	○	○	○	○
c	個別の指導計画の作成・活用（演習）	○	○	○	○	○	○

○ 特別支援学校も対象とします。

講座46 **知的障がい教育における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり** 講義 60分
講義・演習 90分 講義・演習は、訪問対応のみ

知的障がい教育における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりについて、学習指導要領に示された重要事項を踏まえ、具体的な取組について学びます。

講座内容		対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	「主体的・対話的で深い学び」のための授業づくりのポイント（講義）	○		○	○		○
b	「主体的・対話的で深い学び」のための授業づくりのポイント（講義・演習）	○		○	○		○

○ 特別支援学校も対象とします。

講座47 **通常の学級における子どもの実態把握と個別の指導計画の作成・活用（実施回数3回）** 講義 60分
講義・演習 90分 [改編](#)

通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある子どもの困難さや特性等について理解し、個別の指導計画の意義や作成及び活用のためのポイントを学びます。また、各校の子どもの事例を取り上げて、目標設定や支援の手立てについて協議し、組織的・継続的かつ計画的な活用について具体的に考えていきます。個別の指導計画を作成・活用するために、授業参観等による子どもの実態把握や支援方法についての指導助言も可能です。

講座内容について		対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	通常の学級における子どもの実態把握と個別の指導計画の作成・活用（実施回数 3回）		○	○	○	○	

○ 実施時期、実施時間、内容は相談の上、決定いたします。

講座48 **養護教諭の資質向上** 講義・演習 60～90分

時代の変化に対応できる養護教諭を目指し、養護教諭の職務（保健管理・保健教育・健康相談・保健室経営・保健組織活動）について、講義や演習を通して資質向上を図ります。講座の具体的内容については、申込者との相談により決定します。

講座内容		対象					研究委員会
		教委	幼	小	中	高	
a	養護教諭の資質向上（保健管理・保健教育・健康相談・保健室経営・保健組織活動）						○

○ 養護教諭を対象とした講座です。